

家庭学習の手引き 3、4年

見える所にはっておきましょう

神足小学校が考える家庭学習の意義とは



本校は、家庭学習のねらいとして、次の2点を設定しています。

- (1) 既習事項の習熟を図り、基礎基本の定着を図ること。
例：計算ドリルや漢字ドリル、タブレットドリル、プリント学習、日々の復習など
- (2) 学習課題を自己選択し、自らの学習方法で学びを深めること。
例：自主勉強、予習、テスト勉強、塾や習い事の学習など

中学校はもちろん、高学年になるにつれ(2)のねらいの比率が高まってくると考えます。
この家庭学習の手引きを参考にして、中身の濃い家庭学習に取り組みましょう。

1 家庭学習を始める前に(心構え)



- ・時間を決め、中学年は30分から40分取り組みましょう。
- ・自分で進んで取り組みましょう。
- ・テレビやゲームなど、やりながら見ながら学習するのは、やめましょう。
- ・かばんの中身をすべて出し、学校からの配布物や連絡を必ず、うちの人に渡しましょう。(見える所、決まったところに置いておきましょう。)
- ・机の上を整理整頓しましょう。
- ・まずは、学校の宿題をやりとげ、さらに、自主勉強に取り組みましょう。

2 家庭学習の基礎(中学年)

★タブレットドリルも活用しましょう。

- 音読 ・場面の様子や登場人物の気持ちを理解しながら読み進めます。
・めあてを持って読み進めます。
- 漢字 ・ドリルや教科書など手本をよく見てていねいに練習します。
・国語辞典や漢字辞典を使って、使える言葉を広げます。
・字の形や筆順、読み方、送り仮名などにも気を配ります。
・短文作りは、主語述語を入れて書きます。

- 計算 ・ドリル、プリント、教科書（巻末の問題「たしかめましょう」や「もっと練習」などに注目しましょう。）
- ・繰り返しやることと、答え合わせを必ずやり、間違いを見つけたらやり直します。
 - ・提出後、間違いはその日のうちに直します。
 - ・文章題は、よく考え、答えの単位をに注意をはらいます。

3 学習準備 ★学習準備が、翌日の意欲につながります。

- ・学校で、次の日の時間割を確認します。
- ・学校にも忘れ物をしません。（ドリル、ワーク、プリント忘れに注意しましょう。）
- ・次の日の準備、まずはカバンの中をいったんは空にします。
- ・連絡帳を見ながら、確実に合わせます。
- ・宿題が終わったら、まず、鉛筆を削ります。

4 保護者のみなさんへ

- ・個人差を認めて、いっしょに考えてください。
- ・家庭での小さな頑張りや成長を認めてあげてください。
- ・家庭と担任の連携が大切です。どんなことでも知らせてください。
- ・親子の会話を大切にしましょう。

